

2015年、明けましておめでとうございます。

皆様にはどのように新年をお迎えでしたでしょうか。私は昨年10月まではまずまずでしたが、11月末に思いがけず体調を壊し、半月ばかり入院してしまいました。復調する間もなく 正月からは風邪をひいてなかなか調子が出ません。すっかり老体になったと実感しています。(今年は78歳になります)

例によって今年の年賀状の腰折れ「新春三首」を昨年の報告もかねてご披露いたします。

豊国の石仏の里白梅の蕾ふくらみ春立初めぬ (2月 臼杵)

対州の秋や朝の海風ぎて日は昇り来るかの島陰ゆ (9月 巖原)

千枚田海と競ひて波模様能登の輪島の棚田壯観 (10月 能登)

昨年、体調を壊す前までは、関わっている福祉活動のため、上の通りあちこち出張していました。2月には大分での会合に出席したついでに臼杵の石仏群を見学して来ました。石仏の里は静かで心が落ち着きました。9月には対馬の巖原を何十年ぶりかで訪れました。早朝、港の辺りを散歩していたら島影からちょうど朝日が昇ってきました。巖原の朝も静かででした。10月には石川県の金沢での大会に参加したついでに漆器で有名な輪島まで足を伸ばしました。能登半島の北部、日本海に面している町で、「漆」と書かれたのれんの下がっている店もあり、古い町並みがいい感じでした。ここの千枚田と呼ばれる棚田は日本の棚田百選の中でも有名で、急勾配で日本海になだれ込むような千枚田が見事でした。何世代にもわたり、営々としてこの急崖の狭い土地を鋤き返して生きて来た人々の労が、この千枚田の美を結晶させたのだなあと感動しました。

昨年の夏から私は自分史を執筆中です。かなりの高齢になったので、この辺りで一旦立ち止まり、来し方を振り返っておくのもいいなと思ったからです。パソコンのスキヤンの技術を覚えたので、古いアルバムの写真も文中に沢山挿入しています。60代まで書き終えて、これから70代の記録にかかるところです。まもなく「自分の、自分による、自分のための」自分史が出来上がりそうです。

昨年は北高に関わる者にとっては、あまりにもショッキングな年でしたね。今年が北高に何かいいことのある年であればいいなと思います。

今年も北星会の皆さまのご健勝とご活躍を心から祈念申し上げます。

2015年1月11日

鈴山日出年